

WORKS

Empower&Energize

No107
2007/09

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

奈々枝日記

名東福祉会会長 加藤奈々枝

子どもたちの夏休みが始まりました。各所で多彩な催しが行われています。なかでもキャンプは子どもたちに人気の高いプログラムであり、学びの場であると思います。

長男が半身マヒの障害児となった3歳のときから、私はいろいろな親子体験に挑戦することに努めました。あるとき、朝日キャンプが行われることになり、私が所属していた麦の会(重度心身障害児の親の会)からも3組の親子が参加することになりました。キャンプ地は犬山市。日本ライン下りで有名な木曾川のほとり、桃太郎伝説ゆかりの地です。キャンプ名も「桃太郎キャンプ」と名付けられました。

私はちょうど3人目の子どもができたところで、大きなおなかを抱えて参加しました。私の長男は多動で少しもじっとしていてくれません。油断するとすぐに川に向かって韋駄天走りをします。半身マヒなのに速いのです。そこで学生さんがついてくれることになりました。てんやわんやのキャンプで

したが、得るものがたくさんあったキャンプでした。

キャンプは楽しくて、人の心のつながりも深めます。日中、思う存分走り回った長男はざら板に毛布一枚のベッドでぐっすりと寝ました。このときいっしょのテントで寝た3組の親子はあとあとまでいろいろ助けあって長い年月おつきあいすることができました。

以来、あさみどりの会が主催する南山大学学生のキャンプだとか、中日新聞社会事業団の中日キャンプなど、主催者、共催者としてたくさん関わらせていただきましたがなんといつても最初に参加したキャンプは忘れられませんでした。

長男は今もう56歳。初老です。このときおなかにはいた長女も48歳。主婦として平和な毎日を送っています。思えば長い道のりもあつと思う間に過ぎました。これからは若い世代に希望を託そうと思います。

8月9日

太白ワークスのKさんの妹さん(67歳)が亡くなられました。熊本在住の弟さんが駆けつけられ通夜告別式をされました。

Kさんは亡くなられた妹さんと二人暮らしでした。妹さんはKさんに

「もし、自分が死んだら弟のところに電話するんだよ」

と日頃から教え、メモを渡してあったようです。Kさんはそのとおりに弟さんに連絡し、弟さんが来名されすべてを片付け、熊本のご自身の家の前にある借家がちょうど空いたのでそこに引き取るとのこと。本人も家族も納得しているとのことにはまずはひと安心しました。

名東福祉会がスタートして以来、私は似たようなケースをいくつか経験してきました。今回は遠くに住んでいらっしゃる弟さんがすべてを解決してくださったのにはたいへんありがたいことだと心から感謝します。

Kさんは15年も前に太白ワークスの記事が新聞に載ったとき、大きく私の顔写真が写っているのを見て、妹さんに

「この会社の社長だったら働きに行ってもいい」

と、妹さんと来所されたことから始まります。太白ワークスは会社ではないこと、工賃は少ないこと等々を納得していただいて15年。楽しいエピソード

ドもたくさんありますし、仕事をする
ことに厳しい面ももっていましたし、
重度の利用者に対しては最も手厳し
く、時々怒って所長に訴えてくること
もありました。

旅行に行ったときには私と同じ部屋
でふたりで寝ることができるので、妹
さんのことやお母さんのこと、彼氏の
ことまでも話をしてくれたことを思い
出します。先日、天白ワークスでお別
れ会をした時、楽しかったことのひと
つとして

「旅行で所長といっしょに寝たね」
と思い出話をしてくれました。

障害を持つている子を持つ母親は、
いつでも自分が死んだらこの子はど
うなるだろうとみんな思っています。
年老いて両親が亡くなってからも、
ずっと兄弟姉妹で生活の面倒を見て
いるケースをいくつでも私は知ってい
ます。

Kさんの妹さんは、自分が熊本から
集団就職をして名古屋に来た時以來、
ずっとみ続けて、自分が定年退職をし
てこれから少しは人生を楽しく生きて
ほしいと思う時に急逝されたことはあ
まりにも悲しいことです。私は心ゆく
まであなたと話がしたかったと悔やま
れます。あなたは、「これも運命だか

らあたりまえ」と、さらりと話される
のでしょうか。

8月21日

相談窓口の充実を

理事長 加藤久和

「正々の旗をむかえることなく、堂々
の陣を撃つなかれ」

「正々堂々」の語源とされている孫
子のことばです。大儀を掲げている相
手と対立し、陣容が立派な軍隊と戦っ
ても勝つことは難しいので戦いを避け
なさいという意味です。正々堂々とし
た軍は戦いには敗れないというように
使うこともあります。

今、社会福祉法人は財政難で危機を
迎えています。この難局を乗り切
るにはやはり事業の使命感が必要で
す。使命を達成するという意識が私
ちを堂々とさせてくれます。

私たちの正々の旗は障害を持った人
の生活の質を高めること。生活の質の
向上は私たちスタッフやボランティア
や家族が「正々堂々」としていること
から生まれると思います。生活に楽し

さが広がるように日中活動の選択肢を
増やし、生活にまつわる様々なトラブ
ルやストレスを軽減し、必要とあれば
そのための幅広い支援活動を行い、生
活の質を高めていくことが私たちの使
命です。

このQOLを高めることが私たちの
正々の旗です。そうした活動に賛同し
てくれる人たちが堂々の陣をつくりま
す。こうした活動を続けていければ今の
難局などいずれ乗り切ることができ
ると確信しています。

内閣府副大臣の大村秀章氏とお会い
しました。

「施設の話を知ると日割り精算になっ
て経営が厳しくなったという話ばかり。
地域によつては4割減になったと
聞きます。でも、そんなに利用してい
なかつたのかというのが率直な感想で
す。日割り精算問題は一般の人たちに
は通りません。その一方で親や障害者
の方々とお話を聞いてみると、どこに
相談にいったいいいのかまったくわか
らないという返事が返ってきます。施設
や社会資源の利用をもっと効率よくあ
げていくにはまずは相談窓口が必要な
のではないかと考えています。それも

自治体がやるのではなく、社会福祉法
人やNPOがやるようにする。こうし
た窓口が整備されればもっと変わって
くるのではないかと思います。」
なかなか手厳しいご批判とともに、的
を得たコメントをいただきました。

名東福祉会でも名東区障害者地域生
活支援センターを立ち上げ、名東区の
自立支援協議会もゆつくりとではあり
ますが動き始めました。

生活支援センターは相談を待つてい
るだけではなく、直接家庭へ出かけて
いって相談を受けることもあります。
役所の対応とは根本的に違います。生
活支援センターによつて名東福祉会の
各施設のケースカンファレンスのあり
かたにも影響がでてきたとつくづく思
います。

最適な生活のありかたや支援方法を
見つけることは難しいことですが、で
きるだけリスクが少ない選択をするに
は本人の希望を十分にくみ取ることが
まずは大切です。その上で家族やボラ
ンティアも含めた支援者の状況、利用
できる社会資源、アクセス方法、制度
に関する情報が必要です。

障害者自立支援法によつて報酬が少
なくなつた、自己負担が増えてたいへ
んになったといった問題がクローズ
アップされました。それらの問題は昨

年度に打ち出された1200億円の激変緩和措置によって一段落しました。が、むしろ、ここで休むことなく積極的に障害者福祉サービスの充実に向けて動き出し、本来の意味で障害者の自立が促進するような環境を作っていくかなければなりません。そのためにも相談窓口の量を増やし、質も高めるといふ施策は重要です。こうした生活の場根ざした草の根活動を自治体職員が行うことは無理があります。

愛知県知的障害者福祉協会経営者会議は2007年10月7日(日)に社会福祉法人経営者向けに研修会を行います。研修テーマは社会福祉法人の改革。講師は先に紹介した衆議院議員大村秀章氏、厚生労働省障害健康福祉部長中村吉夫氏、日本知的障害者福祉協会会長小坂孫次氏、愛知県知的障害者福祉協会経営者会議議長島崎春樹氏です。

小島一郎の生活支援センター日記

やはり、資源がないと話にならない。相談を受け、ニーズを把握し、適したサービスにつなげようと思っても、肝心の受け皿がなければつなげようがない。特に生活の場を探すのは大変で、敢えて人気の無い、古いタイプの定員の空いた施設を勧めたりする位である。実際は、勧めても先方が「ウチの施設には適さない」「入所しても提供できるメニューがない」と断ってきたりして、「そっちが合わせようって気はないのかよ」「だから定員が埋まらないんだよ」と毒づいてやる(心の中で、ですが)。

なっていない事業所があるのも事実だが、一方で事業所が「泣かなければいけない」状況にあるのも事実。特に困難ケースに関わってくれている前向きな居宅系の事業所ほど、制度の壁にぶつかって、割に合わない条件でケアを行わざるを得ない。何とかならないかと行政に掛け合ってみても、「それは事業所さんに泣いてもらうしか…」となる。あまりに収益率が高いのもどうかと思うが、ボランティア状態とか、実質赤字仕事とかは、やはり問題である。

一番分かりやすいのが、移動支援。名古屋の移動支援単価は周辺自治体に比べて(多分)低く目で、例えば名東区から隣の千種区の施設に利用者を送っていくと、帰りのヘルパー自身の交通費など出ない状況。その他の移動にまつわる諸事情とも併せて考えると、要は「近くに通え」ということなのかもしれないが、事業所側にしてみたら、赤字になるのに応諾義務も何もあつたもんじやない。

別に、やたら事業者の味方をしたくない訳ではない。事業者にある程度の余裕がないと、サービス自体が減るし、最初に触れたように資源も増えていかない。それは結局、利用者側へのしわ寄せとなる。我々のように、相談を受けてサービスにつなげる、コーディネーターする人間にとつてみれば、つなげる先がないほど虚しいことはない。挙句の果てに、「小島さんは、いつも分かってましたと言うけど、ちつとも探してくれない」などと言われる始末である。福祉サービスの需要と供給という意味で、為政者はどこを落とし所としているのだろうか。あまり絞っていくと、自立支援法は、やはり「悪法」の誹りを受けないと思うのであるが。

8月19日

そう言えば・・・

一昨日、昨日と行われた、日本TV系列恒例の24時間テレビ。欽ちゃんのマラソン完走で、感動のフィナーレを迎えた訳だが、たまたま家族・親類と観ている、あることが話題となった。日本武道館に到着した欽ちゃんが、客席の間の階段を足を引きずりながら降りてきてメインステージへ。まずは、総合同会であり、この番組を第1回目から30年間、共に支えてきた徳光アナと握手。次に、往年の人気コンビ、「コント55号」の相方、坂上二郎さんと言葉を交わす。また、つい先ほどステージ上で、欽ちゃんを応援すべく「ヤングマン」を熱唱した西城秀樹とも握手。こうしてみると、何のことはない、自然な成り行きなのであるが、

徳光さん↓心筋梗塞

二郎さん↓脳梗塞
秀樹 ↓脳梗塞

と、循環器系生活習慣病に見舞われた人ばかりである。また、そもそもこの類の話題になったのも、徳光さんの人生を長嶋茂雄との出会いが変えたという放送部分があつたからで、

長嶋さん↓脳梗塞

である。この事実を「思ってたより大勢いそうだな」と取るか、「ちやんと復帰できるんだ」と取るかは人それぞれであろうが、私には、何とも今の日本の中老年の姿を象徴した映像に映った。

そういえば、欽ちゃんは66歳にしてヘビースモーカーだそうで、スターの日の朝刊には、禁煙学会か何かの医師の意見として、「無茶なチャレンジャー」「マラソンよりも禁煙すること、国民の健康増進に勇気を与えるべき」などと手厳しく書いてあったわけ。ヘビースモーカーの最高齢ランナーの完走を、循環器系の大病から復活してきたおじ様たちが祝福している映像は、やはり、奥の深いもの(?)に見える。それこそ番組が、障害者支援を前面に押し出しているから、尚更である。

いっそ、今回の30回記念を機に、国の施策にのっとって、後遺障害に苦しむ人の話題ばかりではなくて、健康増進・疾病予防・生活習慣改善等、後遺障害を得ないような取り組みも、番組の柱にした方がよいのかもしれない。

8月20日

名東福祉会のホームページへどうぞ

名東福祉会では福祉情報を満載したホームページを運営しています。

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

検索サイトから「名東福祉会」でヒットします。

最新の厚生労働省情報や専門的な支援技術方法など
多様な情報を掲載しています。

名東福祉会は賛助会員を募集しています

名東福祉会の活動にご賛同いただき、

多くの方々にご入会いただきますよう

よろしくお願いいたします

賛助会員 1口3000円(年間)

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1

TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3

TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 番3

TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池112-3